

健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動

小山内豊彦、古川照美、川内規絵、大西基喜、播磨優子

Key Words ①健やか力 ②検定 ③ヘルスリテラシー

I. はじめに

青森県が平成26年度、27年度に実施した『健やか力検定』を引き継ぎ、本学学生及び青森市内の大学生を対象として同検定を実施することを目的として、平成28年度に立ち上げた「ヘルスリテラシー向上部」が中心となり、県民のヘルスリテラシーの向上に資する活動を行ってきた。今年度は、コロナ禍で、できなかった各種健康測定など対面の活動を再開するとともに、引き続きオンライン方式を導入し、「会場」と「オンライン」のハイブリッド方式で検定を実施したところである。

II. 目的

1. 「ヘルスリテラシー向上部」に参加する学生が教材や検定問題を作り上げていくことにより、将来、青森県民のヘルスリテラシー向上を支える人材の育成に寄与する。
2. 本学学生の他、青森市内の大学生等が『健やか力検定』を受検すべく学習することは学生自身のヘルスリテラシーの向上につながり、ひいては成人期以降の生活習慣病予防に資する。
3. 本活動を通して『健やか力検定』の内容の検証を行うことにより、県民向けの更なるヘルスリテラシー向上につながる検定の知見を得ることができる。

III. 活動方法

「ヘルスリテラシー向上部」部員や教員により、8月～9月にかけて『健やか力検定』(疾病編)の問題を作成し、12月17日に本学及び青森大学において会場検定を実施した。

また、古川教授を中心として、ひろく県内外の学生に向けてオンライン受検への参加を呼びかけ、12月17日にオンライン検定を併せて実施した（有限会社トコシエの協力による）。

IV. 活動結果

1. 5月11日に部員等25名が参加し、「ヘルスリテラシー向上部」総会を開催した。
2. 部員や教員が参加し、8月から9月にかけて『健やか力検定』問題（「疾病編」）の作成を行った。
3. 12月17日、本学及び青森大学を会場として、『健やか力検定』を実施した。併せて同日オンライン検定を行った。

受検者数は会場検定が73名（本学49名、青森大学24名）で、受検者のうち正解率60%以上の合格者は64名（合格率は87.7%）、平均得点は74.7点であった。

一方、オンライン受検者は67名（本学12名、青森中央学院大学4名、北里大学1名、京都大学2名、秋田看護福祉大学48名）で、合格者は61名（合格率91.0%）、平均得点は81.3点であった。

V. 考察

本年度は「ヘルスリテラシー向上部」活動の8年目であったが、コロナ禍も一段落し、コロナ禍前の活動をほぼ実施することができた。さらに3年目を迎えたオンライン方式での検定を、着実に実施することができ、67名の参加者があったことは、今後、より受検者の対象範囲を広げ、かつ機動的に『健やか力検定』を実施する基盤が改めて整ったのではないかと自負しているところである。

最後に、青森大学の会場における検定の実施に多大なる御協力を賜った、青森大学薬学部准教授の佐藤昌泰様、また、オンライン試験システムの構築に尽力いただいた有限会社トコシエ（千葉県柏市）代表の榎戸重記様、併せて、準備期間が短かった中で、オンライン方式の受検参加に御協力をいただいた、秋田看護福祉大学及び青森中央学院大学等の関係者の方々に深く感謝申し上げる次第である。



(写真1) 令和5年12月17日「健やか力検定」青森大学



(写真2) 令和5年12月17日「健やか力検定」青森大学